

働くすべての仲間て県職労運動の強化・拡大を

職場課題改善のため支部・分会で活発な討論を

運動方針のポイント 県職労は6月4日、コロナ感染防止策を講じたうえで第128回定期大会を開催し、2022年度運動方針を議論する。昨年度の運動の到達点を振り返り、「みんなで討論、みんなで決定、みんなで行動」するため、全職員の組合加入から組織強化・拡大を基軸とした「譲れない要求」を積み上げ、一人一人が積極的に結集する組織づくりをめざす。

《①組織強化》 みんなでつくる県職労運動 運動の原点は「職場」。安心して働き続けるためには職場で抱える不安や不満を解消していくことが必要である。県職労全体の取り組みを進めるうえでも早期に支部・分会体制を確立し、本部と連帯した取り組みから職場実態を把握し、改善へと要求につなげていく。

《②賃金・労働条件改善、生活向上》 労使関係の確認と要求前進 知事との意見交換の場を設定し、労使関係の基本姿勢や県職労課題（人員、賃金、超過勤務課題等）の課題意識を持たせ、今後の具体的な交渉につなげていく。

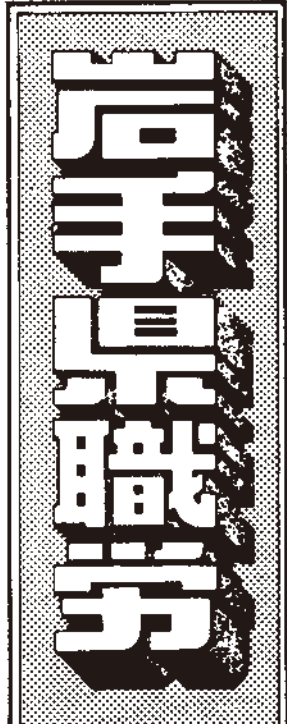
《③職場改善》 人員確保・職場要求 6月の分会基礎調査を基に、職場・職種ごと人員配置状況を分析し、根拠をもった人員要求を進める。

《④政治闘争の推進》 政治意識の高揚をはかるため学習活動を強化するとともに、日頃から県職労組織内・推薦議員と連携し職場課題を県政課題としてとらえ改善に結び付けていく。

《⑤政治闘争の推進》 政治意識の高揚をはかるため学習活動を強化するとともに、日頃から県職労組織内・推薦議員と連携し職場課題を県政課題としてとらえ改善に結び付けていく。

《⑥政治闘争の推進》 政治意識の高揚をはかるため学習活動を強化するとともに、日頃から県職労組織内・推薦議員と連携し職場課題を県政課題としてとらえ改善に結び付けていく。

《⑦政治闘争の推進》 政治意識の高揚をはかるため学習活動を強化するとともに、日頃から県職労組織内・推薦議員と連携し職場課題を県政課題としてとらえ改善に結び付けていく。



月2回刊=1602号
2022年5月30日 発行
発行日 毎月15日30日
発行所 盛岡市内丸九番1号 岩手県庁内 岩手県職員労働組合 印刷所 盛岡市上田二丁目17-4 有限会社 ジョー印刷企画 一部 40円
組合員購読料は組合費に含む

《⑧政治闘争の推進》 政治意識の高揚をはかるため学習活動を強化するとともに、日頃から県職労組織内・推薦議員と連携し職場課題を県政課題としてとらえ改善に結び付けていく。

《⑨政治闘争の推進》 政治意識の高揚をはかるため学習活動を強化するとともに、日頃から県職労組織内・推薦議員と連携し職場課題を県政課題としてとらえ改善に結び付けていく。

《⑩政治闘争の推進》 政治意識の高揚をはかるため学習活動を強化するとともに、日頃から県職労組織内・推薦議員と連携し職場課題を県政課題としてとらえ改善に結び付けていく。

働き方改革に関する課題 当局が推し進める「働き方改革ロードマップ」は、コロナ対策を理由に、十分な労使交渉・協議を尽くさないまま職場実態を無視した勤務・労働条件の見直しを推し進められている。職場で生じた諸課題について改善要求し、安心して働ける職場環境をめざす。

《③職場改善》 人員確保・職場要求 6月の分会基礎調査を基に、職場・職種ごと人員配置状況を分析し、根拠をもった人員要求を進める。

《④政治闘争の推進》 政治意識の高揚をはかるため学習活動を強化するとともに、日頃から県職労組織内・推薦議員と連携し職場課題を県政課題としてとらえ改善に結び付けていく。

《①人員確保対策》 4月時点の欠員は13人。欠員が徐々に減少している状況にある。

《②賃金・労働条件改善》 労使関係の確認と要求前進 知事との意見交換の場を設定し、労使関係の基本姿勢や県職労課題（人員、賃金、超過勤務課題等）の課題意識を持たせ、今後の具体的な交渉につなげていく。

《③職場改善》 人員確保・職場要求 6月の分会基礎調査を基に、職場・職種ごと人員配置状況を分析し、根拠をもった人員要求を進める。

《④政治闘争の推進》 政治意識の高揚をはかるため学習活動を強化するとともに、日頃から県職労組織内・推薦議員と連携し職場課題を県政課題としてとらえ改善に結び付けていく。

《⑤政治闘争の推進》 政治意識の高揚をはかるため学習活動を強化するとともに、日頃から県職労組織内・推薦議員と連携し職場課題を県政課題としてとらえ改善に結び付けていく。

《⑥政治闘争の推進》 政治意識の高揚をはかるため学習活動を強化するとともに、日頃から県職労組織内・推薦議員と連携し職場課題を県政課題としてとらえ改善に結び付けていく。

《⑦政治闘争の推進》 政治意識の高揚をはかるため学習活動を強化するとともに、日頃から県職労組織内・推薦議員と連携し職場課題を県政課題としてとらえ改善に結び付けていく。

《⑧政治闘争の推進》 政治意識の高揚をはかるため学習活動を強化するとともに、日頃から県職労組織内・推薦議員と連携し職場課題を県政課題としてとらえ改善に結び付けていく。

《⑨政治闘争の推進》 政治意識の高揚をはかるため学習活動を強化するとともに、日頃から県職労組織内・推薦議員と連携し職場課題を県政課題としてとらえ改善に結び付けていく。



▲様々な課題改善を求める県職労交渉団

▲様々な課題改善を求める県職労交渉団

《①人員確保対策》 4月時点の欠員は13人。欠員が徐々に減少している状況にある。

《②賃金・労働条件改善》 労使関係の確認と要求前進 知事との意見交換の場を設定し、労使関係の基本姿勢や県職労課題（人員、賃金、超過勤務課題等）の課題意識を持たせ、今後の具体的な交渉につなげていく。

《③職場改善》 人員確保・職場要求 6月の分会基礎調査を基に、職場・職種ごと人員配置状況を分析し、根拠をもった人員要求を進める。

《④政治闘争の推進》 政治意識の高揚をはかるため学習活動を強化するとともに、日頃から県職労組織内・推薦議員と連携し職場課題を県政課題としてとらえ改善に結び付けていく。

第五世代 県職労も結成から75年、初めての女性書記長を迎えた。総務省男女共同参画室の資料によると、上場企業における女性役員登用の割合は、2012からの9年間で4.8倍に増加した。ただし世界の女性役員割合を見れば、フランスの45.3%、イタリアの38.8%と比較して、日本は12.6%と、明らかに後進国だ。一方、職場での働き方を見れば、深夜までの残業を行う女性職員も目立つ。コロナ禍において奮闘いただいている保健師の多くも女性職員が担っているが、連日の深夜勤務が続いている。労働基準法の「女子保護」規定が撤廃（1999年）されて久しい。当時は男女の均等な待遇・機会の確保を理由としていたが、女性も男性も遅くまで働く実態が果たして昨今のジェンダーフリー社会の意味なのか。最近では参院選栃木選挙区の女性候補予定者の事務所開きで「顔で選んでくれれば1番を取れる」との維新議員の発言も話題に。ジェンダーフリーへの日本のグローバル化は遠そうだが、まずは我が女性書記長を先頭に、多くの組合員の声に寄り添いながら県職労の男女参画向上をめざしたい。

県職労 無料法律相談事業のお知らせ

県職労総合共済では、組合員と家族の生活支援及び不安解消のため、顧問弁護士による無料法律相談事業を実施し、1事案につき初回に限り、無料で法律相談を受けられる仕組みを設けています。

相談の流れ

- 「法律相談を受けたい」旨、県職労本部へご連絡ください。
(相談案件を確認するもので、詳細内容をお話いただく必要はありません)
- 県職労本部から弁護士へ相談の連絡をします。
- 相談者から直接弁護士へ相談いただきます。

※無料となるのは初回相談のみです。継続的な相談や具体的な対応に関する費用は、相談者の負担となります。

担当弁護士

山中法律事務所
山中 俊介 弁護士

参議院選挙のQ&A

Q：県職労はなぜ政治活動に取り組むのですか？

A：私たち組合員の仕事や賃金・労働条件は、法律や条例で定められるため、議会対策が必要です。定められた法律や条例も、議会で決められる予算のもとで執行されるものであり、私たちを取り巻く環境は、政治と密接に関係しています。

Q：私たちの職場と政治とはどう関係するのですか？

A：それぞれの職場・現場の課題を、私たち労働者の代表を国会に送り出し、政治の場に反映させ、改善につなげています。

Q：私たちの支援する国会議員が果たしてきた役割は？

A：協力国会議員は、法案や予算案が国会に提出される前から各省庁からの情報収集や各省庁への意見反映といった活動を日常的に行っています。また、私たちの政策を理解する国会議員のネットワークを広げる役割を担っています。

Q：候補予定者「鬼木 まこと」さんって、どんな人？

A：福岡県庁で公務員として働いてきました。行政での経験と自治労運動を通じて、そこで働く労働者の暮らしと社会的な連帯を取り戻すため、国政をめざすことを決意しました。



Q：参院選比例区のしくみは？

A：政党名と候補者名の書かれた票の合計が、政党の獲得票となり、政党の議席数が決まります。その中から、候補者名の得票数が多い順に当選者が決まります。従って、個人名で投票することが重要です。

現業評

新体制・人事課長に課題申し入れ

関係主管室課にも継続課題改善求める



▲人員確保等を求め人事課長と交渉を行う現業評執行部 ▲回答する加藤人事課長



▲農林水産企画室と交渉を行う現業評執行部 (右)

現業評は5月13日、総務部加藤人事課長と着任の面会を行い、2022現業闘争をスタートさせた。

工藤議長は「遠野土木センター運転技士の採用、管財課運転技士の退職補充募

加藤人事課長は「ハイレベルでの知能、技術、技能が求められる中、専門分野で県政発展にご尽力いただき感謝。職員が働きやすい職場をつくるという方向性や考え方は同じ」とした。菅原副議長から、人事課長の姿勢を確認した。人事課長の回答は次のとおり。

①労使の基本姿勢

職員の給与、勤務条件の変更や決定は、可能な限り皆さんの理解と協力を得ながら行ってきます。今後も同様の姿勢。各主管室等と意思疎通を図り、適切に対応。

②人員補充(継続課題)

技能員の定年退職補充に関し、主管部局と協議しながら新規採用を行ってきた。今後も適切に対応。土木部の運転技士は、所

いちご狩りで春を感じる

県庁・盛岡・県南支部で交流会を開催

5月14日、金ケ崎町の「みどりの郷」にて県南支部(花巻、北上、胆江、一関)で初となる、合同の新採用職員交流会が開催され、21人が参加。また、5月15

日は八幡平市にある「彩花園」と「サラダファーム」にて盛岡支部及び県庁支部が交流会を開催した。

県南支部(参加者の感想)

●交流会に参加してより一層、同期との仲を深めることができました。新たな出会いもあり、いちご狩りを通して人とのつながりを広げる楽しさを実感しました。今後も引き続き交流の場

管区域の状況を踏まえた配置必要数、正規の必要性、特殊車輛の管理のあり方などの基本方針を、昨年来、県土整備部と調整中である。同日、管財課、農林水産企画室、県土整備企画室と面会し、課題改善を要請した。

現業評は今後、7月の要求書提出に向け職場課題集約に取り組み、要求書を提出、課題改善を求めていく。

県庁支部交流会のようす

場所：サラダファーム



盛岡支部交流会のようす



場所：彩花園

県南支部交流会のようす



場所：金ケ崎町「みどりの郷」



を設け、親睦を深めるともに組合活動を波及させていければと思います。

●普段では関わるのが少ない他支部の仲間とのつながりができ、とても良い交流会となったと思います。

県庁支部(参加者の感想)

●昨年度も参加したのですが、娘から「今年も行きたいな」とリクエストがあり、参加させていただきまして、家族ニコニコで帰ってきました。

こくみん共済 NEWS 5120F049

団体生命共済

団体定期生命共済

けがには 気をつけね! 30日分償還だよ。

こくみん共済(全労済) 全国労働者共済生活協同組合連合会

自治労共済

推進本部 全日本自治体労働者共済生活協同組合

不明な点があれば、まずは組合にお問い合わせください。

入院がない5日以上 の けがの通院も保障!

団体生命共済なら入院を伴わない場合でも、通院5日以上で1日目から支払いの対象となります!

「こくみん共済 coop」は営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地(先)の共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。

契約にあたってはパンフレットもご覧ください。

「おいしかったので、100個くらい食べちゃった! 桃味のいちごが特に美味しかった!」と、すでに来年の開催を待ち遠しく思っているようです。

「危険!」

「ガキッ!」